



描くひと

世界が認めた漫画家の仕事

谷口ジローの世界

2021年1月23日(土)~2月21日(日)

米子市美術館 第3・4展示室

〒683-0822 鳥取県米子市中町12 開館時間:10:00~18:00 休館日:水曜日

主催:鳥取県、株式会社ふらり

観覧無料

描くひと

世界が認めた漫画家の仕事

谷口ジローの世界

20歳で漫画の世界に足を踏み入れた谷口ジローは、1970年に漫画家デビューし、青年コミック誌、劇画誌を舞台としての活躍を経て、独自の世界を確立します。ハードボイルドやSF、格闘場面などの迫力ある絵から、市民の日常を丁寧に紡ぐ描写など、谷口の画業は留まるところを知らず、幅広い時空を漫画として展開し、新しい表現を次々獲得してきました。

『歩くひと』『遙かな町へ』『孤独のグルメ』『神々の山嶺』『晴れゆく空』『事件屋稼業』『坊っちゃん』の時代』等々およそ40作の谷口ジローの作品が、これまでに20近くの言語に翻訳され、欧米・アジアの各国で出版されています。そして、それらの作品の多くはロング・セラーとして世界各国の書店の店頭を飾ります。谷口作品が、世界中の、また漫画ファン以外の読者にも愛され続ける理由は、いったい何でしょうか？

本展では、谷口ジローの創作を70年代の初期作品から未完の遺作まで紹介しつつ、「物語」「風景」「色彩」といったキーワードでも読み解いていきます。谷口ジローが描いた原画の美しい描線を通じて、その多彩な魅力の真髄に触れていただきたいと思います。

神々の山嶺 ©ハビエ

谷口ジロー *Jiro Taniguchi*

1947年～2017年。18歳まで鳥取で過ごす。その作品はヨーロッパ、アメリカ、アジア等で広く翻訳・出版され、内外の多くの漫画賞を受賞し、高く評価されている。また、『遙かな町へ』『歩くひと』『晴れゆく空』『孤独のグルメ』『神々の山嶺』『事件屋稼業』等、映画化、テレビ・ドラマ化、舞台化された作品も少なくない。



「東京式殺人」©ハビエ



「坊っちゃん」の時代 ©ハビエ



「光年の森」©ハビエ

【交通案内】



●JRご利用の場合：
JR米子駅から約1,000m
JR米子駅前から各方面行きバス(除/松江方面)米子市役所前下車(所要時間約5分)

●お車の場合：
米子自動車道・米子インターから約20分

●駐車場のご案内：
米子市役所所有駐車場をご利用ください。
(駐車券を受付までお待ちください。2時間以内無料の処理を行います。美術館横に障がい者用2台・ハートフル駐車場2台を用意しています。)

2021年1月23日(土)～2月21日(日)

米子市美術館 第3・4展示室 観覧無料

〒683-0822 鳥取県米子市中町12 開館時間：10:00～18:00 休館日：水曜日
<http://www.yonagobunka.net/y-moa/>

！※感染症拡大防止のため、入館時に検温、マスク着用及び緊急連絡先のご記入をお願いします。
※接触確認アプリCOCOAなどを活用し、感染拡大防止にご協力をお願いします。

お問い合わせ先：鳥取県まんが王国官房 TEL:0857-26-7801(平日8:30～17:15) FAX:0857-26-8307

主催：鳥取県、株式会社ふらり

同時開催 「描かれた鳥取 谷口ジローの世界2」 2021年1月25日(日)～2月21日(日)

ギャラリー 鳥たちのいえ(鳥取市) 開廊時間：10:00～18:00 休廊日：水曜日 観覧無料
TEL:0857-51-0710 <http://birdsgallery.org> 主催：鳥取県、株式会社ふらり 協力：鳥たちのいえ

まんが王国とっとり 谷口ジロー原画展 検索